

保存版

保護者の皆様へ

奈良市立登美ヶ丘北中学校
校長 榎本 克之

①学校感染症（インフルエンザ）流行時の出席停止についてのお知らせ

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
インフルエンザや感染性胃腸炎など感染症の流行する時期になってきました。本校でも、先週末から体調不良による早退者、欠席者が増えてきています。ご家庭におかれましても、お子様の健康管理には、十分万全を期していただきますようお願いいたします。

学校感染症（インフルエンザ）に罹患した場合は、法律で出席停止期間が下記のように定められています。学校に連絡をいただくとともに、医師と相談の上、適切な処置をとるようご配慮お願いいたします。医療機関による証明書や診断書は不要です。

尚、再登校した際に、「学校感染症についての報告」用紙をお渡ししますので保護者記入の上、担任まで提出してください。期間中は、**出席停止**の扱いとなります。



発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで
(学校保健安全法施行規則第十九条)【 2012年4月1日改正 】

インフルエンザ発熱期間と出席開始日のめやす

発熱期間	発症日 0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
2日目	発熱	発熱	平熱	平熱	平熱	平熱	登校可		
3日目	発熱	発熱	発熱	平熱	平熱	平熱	登校可		
4日目	発熱	発熱	発熱	発熱	平熱	平熱	登校可		
5日目	発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	平熱	平熱	登校可	
6日目	発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	平熱	平熱	登校可

*抗インフルエンザ薬を発熱早期に内服すると、1～2日で解熱が可能となりますが、インフルエンザ感染力はしばらく残っています。また、インフルエンザでは、一旦熱が下がっても、再び発熱する場合があります（二峰性発熱）。1日のうちで、発熱・解熱をともに認めた場合は、発熱期間とします。

出席停止期間に従い、感染力が弱くなるまで登校を控えることで、集団での流行拡大を防ぐための措置ですので、ご理解をお願いします。

*発熱している日の最終日（太字発熱）に解熱したと考えてください。

②感染性胃腸炎（ノロウイルス）の発生予防についてのお知らせ

感染性胃腸炎は、冬季から春先を中心に流行します。特にノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎の場合、学校など集団生活の場で大流行となることもあり注意が必要です。

今シーズンの流行は、過去10年の同時期と比べ最大に流行しています。感染の拡大を防ぐために留意事項をご配慮の上、お子様の健康管理には、十分万全を期していただきますようお願いいたします。

感染性胃腸炎とは？

細菌、ウイルス、寄生虫などによって引き起こされる胃腸炎のことです。一年中を通じて見られますが、特に冬から春にかけては、ノロウイルスやロタウイルスによる発生が多くなります。感染力が強く、少量のウイルスで感染するため集団発生、家族、施設から感染する場合があります。

主な症状	吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱（微熱）
潜伏期間	1～2日間
感染経路	★人から人への感染（飛沫感染・接触感染・空気感染） ★食品からの感染（ウイルスの蓄積した二枚貝）
経過	1～2日間（個人差があります）
予 防	★手洗い、うがい。タオルの共有は、避ける。 ★体力低下の時は、感染を起しやすいため十分な睡眠、食事は、規則正しく。 ★吐物などの適切な処理。 ★食品は、十分に加熱する。 ★症状のある人は、調理をできるだけ控える。
治 療	ワクチンがなく、対処療法に限られ脱水症状に気をつける。早目に医療機関を受診する。
そ の 他	回復しても、3～7日間は、便の中にウイルスを排出するため要注意。 アルコール消毒は、ノロウイルスに効果が期待できません。次亜塩素酸ナトリウムで消毒しましょう。

- ・これからのシーズンいろいろの感染症が多発します。少しでもお子様の体調に変化が見られましたら早目に医療機関で受診よろしくお願ひします。登校については、主治医とよくご相談ください。
- ・流行期においては、急な早退、閉鎖が起こり得る場合があります。緊急時の連絡について、お子様と話し合っておいてください。